

# 日本地域学会ニューズレター

平成 27 年 no.2

平成 27 年 9 月 1 日

## 目 次

I. 副会長挨拶	...2
II. 日本地域学会 第 52 回年次大会 (平成 27 年 10 月 10～12 日) 参加登録について	...2
III. 平成 27 年度日本地域学会総会(平成 27 年 10 月 11 日) 出席のお願い	...3
IV. 理事会報告 平成 27 年度第 1 回—第 5 回理事会	...4
V. 委員会報告	...6
1. 学会賞選考委員会	
2. 機関誌編集委員会      第 49-50 回機関誌編集委員会	
第 52 回年次大会準備委員会からのお知らせ	
第 52 回年次大会の会場(岡山大学)案内, 交通手段	...8
岡山大学津島キャンパス内マップ	
セッション・総会・シンポジウム会場配置図	...9
懇親会・昼食案内	...10
『地域学研究』バックナンバー申込書	...11
正会員入会申込書	...12

注意：第 52 回年次大会出欠ハガキが同封されています。

## I. 副会長挨拶

日本地域学会

副会長 高橋秀悦

昨年 12 月に開催された日本地域学会理事会においてご推薦をいただき、2015・2016 年度の副会長を務めさせていただくことになりました。会長の氷鉋揚四郎先生にご指導をいただきながら、微力ながら日本地域学会のよりいっそうの発展に尽力したいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

周知のように、「地域科学 (Regional Science)」の研究は、60 年以上も前に、地域的・空間的な課題をさまざまな学問の手法を使って理論的・実証的・総合的に分析するとともに、現実的な解決策を提示する目的をもって、ペンシルベニア大学の W.アイザード教授によって始められました。日本地域学会も、この目的を実現するために、経済、地理、交通、環境、開発、都市計画等、さまざまな分野の研究者の賛同をえて組織され、50 年以上になります。これまで、歴代会長のご尽力により、会員数も 1,000 名を越え、学会も順調に発展してきました。また、日本地域学会は、地域科学研究の国際ネットワーク (RSAI や PRSCO) の構築・発展にも大きく貢献してきました。これも、本学会の元会長の河野博忠先生や現会長の氷鉋揚四郎先生には、RSAI の会長にご就任されるなど精力的なご活躍があつてなればこそ、日本地域学会が国際ネットワークの一翼を担うに至ったものと、心より両先生に感謝を申し上げる次第です。

この間、地域科学の研究は、『地域学研究』等に見られるように、質・量ともに拡大し学術的発展を続け、さまざまな学問研究分野の中でも、その存在意義を大きく高めています。こうした研究水準の高さが、日本の大学教育にも反映され、地域学関係の学部・大学院の設置やカリキュラムにおける地域関連科目（地域経済論、地域社会論、地域文化論等）の新設となつて具体化しています。

他方、地域科学は、地域的・空間的な課題に対して現実的な解決策を示すことを旨としてい

ます。グローバル化が進展し地域間交流・連携が進むことにより、地域経済が活性化する一方で、「地域」は、少子高齢化による限界集落に伴う諸問題、さらには、将来的には人口減による自治体消滅といった問題も抱えています。

現実の政策面では、少子高齢化の進展に対応し、東京圏への過度の人口集中を是正するために、「実践型地域雇用創造事業」が実施されているほか、「まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）」が施行されている状況にはあるが、目下のところ十分な成果をあげるまでに至っていない。また、地方からの人口流出を防ぐために、文部科学省の主導によって、地方自治体と（都市圏・地方圏の大学を問わずに）大学との連携による雇用創出・若者定着の取り組みも始まるが、目下のところ、具体策は、ミクロ経済学的発想からの奨学金による誘導政策のみであり、実効性に欠ける。

政策課題への対応策の研究は、地域科学の研究の全体からすれば、限定された分野に過ぎないことは当然であるが、昔、「クレープのないコーヒーなんて」という CM が話題を呼んだが、これと同様に、「政策対応のない地域科学なんて」である。

いささか偏った私見も述べさせていただきましたが、今後とも、学会会員サービスの向上を通して、地域科学の発展と日本地域学会のよりいっそうの発展に努めて参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## II. 日本地域学会第 52 回年次大会

(平成 27 年 10 月 10 日-12 日)

第 52 回年次大会が岡山大学において下記の通り開催されます。

記

開催日: 2015 年 10 月 10 日(土)~12 日(月)

開催校: 岡山大学

会場: 岡山大学津島キャンパス・一般教育棟  
(会場案内は別掲)

住所: 〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1

## 大会実行委員会

委員長 阿部宏史(岡山大学理事・副学長・  
大学院環境生命科学研究科教授)

副委員長 中村良平(岡山大学大学院社会文  
化科学研究科教授)

委員 氏原岳人(岡山大学大学院環境生  
命科学研究科助教)

委員 近藤光男(徳島大学大学院ソシオ  
テクノサイエンス研究部教授)

委員 福島明子(四国大学経営情報学部  
メディア情報学科講師)

連絡先: 大会実行委員会メール:  
jsrsai2015@gmail.com

大会情報: <http://jsrsai2015.wix.com/jsrsai2015>  
公開シンポジウム

日時: 2015年10月11日(日) 15:15-17:45

会場: 岡山大学一般教育棟 A21 講義室

テーマ: 『地方創生と地方中核都市のまちづ  
くり』

## 参加費等

---

参加費: 一般会員	5,000 円
学生会員	3,000 円
非会員	10,000 円

(公開シンポジウムのみ参加は無料)

懇親会費(参加者のみ):

一般会員・非会員	4,000 円
学生会員	2,000 円

---

申込み方法: 同封の返信用ハガキでお申し込み  
ください。座長,発表者,討論者を含め全ての参  
加者に申込みが必要です。なお総会(11日13時  
15分を予定)を欠席される場合は,委任状欄の記  
入もお願いいたします。

## 注意事項:

- 1) 今回の年次大会では, アブストラクト, レジ  
ュメなどが掲載された CD や USB の配布は  
しません。
- 2) 発表者は必ずレジュメを 20 部持参し, 会場  
で配布して下さい。
- 3) アブストラクト, レジュメなどは, 学会の

HP で公開する予定です。

URL : [http://www.jsrsai.jp/index\\_jap.html](http://www.jsrsai.jp/index_jap.html)

- 4) 年次大会会場においては HP を閲覧できる  
ネットワーク環境はありません。
- 5) 大会期間中の昼食は, 学内食堂もしくは会場  
周辺の飲食店をご利用下さい。

以上

## Ⅲ. 平成 27 年度日本地域学会総会 (平成 27 年 10 月 11 日)

日本地域学会会員各位

日本地域学会

会長 氷鮑 揚四郎

本年度総会を下記要領で開催致しますのでご出  
席ください。なお, 欠席される場合には同封の  
はがきにて委任状をご提出下さい。

記

日 時: 平成 27 年 10 月 11 日(日)13:15-15:00

場 所: 岡山大学一般教育棟 A21 講義室

総会次第:

- 1) 開会の辞
- 2) 会長挨拶
- 3) 来賓挨拶
- 4) 議題
  - (1) 新入会員・退会希望者の承認
  - (2) 平成 26 年度の事業報告の承認
  - (3) 平成 26 年度の収支決算の承認
  - (4) 平成 28 年度の事業計画の承認
  - (5) 平成 28 年度の収支予算の承認
  - (6) 平成 27 年度の収支予算(修正案)の承認
  - (7) 名誉会員の承認
  - (8) 第 53 回(2016 年) 年次大会の開催地,  
開催校等の承認
  - (9) 第 54 回(2017 年) 年次大会の開催地,  
開催校等の取扱いの承認
  - (10) その他
- 5) 報告
  - (1) 新入会員キャンペーンの継続
  - (2) 『地域学研究(45 巻)』の編集
  - (3) RSAI の動向

- (4) PRSCO の動向
- (5) その他
- 6) 学会賞授与式
  - (1) 選考経過報告
  - (2) 学会賞授与(受賞者はV. 委員会報告に別掲)
  - (3) 受賞者挨拶
- 7) その他
- 8) 閉会の辞

以上

#### IV. 理事会報告

平成 27 年次 日本地域学会第 1 回理事会 (持回り)

日 時: 平成 27 年 1 月 26 日(月)17:00

##### 議題

1. 資産評価政策学会主催 平成 26 年度研究大会・シンポジウム「IFRS 対応知財評価の現状と課題」後援名義使用の件  
上記後援名義使用を許可する件につき審議に付し、承認が得られた。

平成 27 年度 日本地域学会 第 2 回 理事会

日 時: 平成 27 年 4 月 26 日 (日) 12:30-14:30

場 所: 学術総合センター 2 階 会議室 201-202

出席者: 浅見,阿部,石橋,岡村,鐘ヶ江,木南(莉),國光,櫻井,佐々木,渋澤,鈴木,高橋,多和田,徳永,戸田,中山,萩原,氷鮑,福井,藤岡,松本,水野谷,三友,三橋,宮田の各理事(ただし近藤,斎藤,柳原,吉田の各理事より委任状付託; 以上理事 29 名出席); オブザーバとして藪田監事,白井名誉会員推薦委員会委員長,河野顧問,酒井学会賞選考委員会委員長,木南(章)機関誌編集委員会副委員長; 内田,古澤の各幹事; 秋山事務局秘書

##### 議題

1. 新入会員・退会希望者の承認  
水野谷総務担当常任理事より、前回理事会以降申し込みのあった 8 名の正会員 (個人会員) の入会と 27 名の個人会員の退会の希望があった旨報告があり、これを審議した結果、総会に諮

る事が諒承された。

2. 平成 26 年度決算 (案) の審議と承認

氷鮑会長より平成 26 年度決算(案)について説明があり、これを総会に諮ることを諒承。

3. 平成 27 年度予算 (修正案) の審議と承認

氷鮑会長より平成 27 年度予算 (修正案) について説明があり、これを総会に諮ることを諒承。

4. 平成 28 年度予算 (案) の審議と承認

氷鮑会長より平成 28 年度予算 (案) について説明があり、これを総会に諮ることを諒承。

5. 50 周年記念事業 平成 26 年度決算(案)の承認

氷鮑会長より 50 周年記念事業 平成 26 年度決算(案)について説明があり、これを総会に諮ることを諒承。

6. 平成 26 年度事業報告

水野谷総務担当常任理事より平成 26 年度事業報告(案)について説明があり、これを総会に諮ることを諒承。

7. 平成 28 年度事業計画

水野谷総務担当常任理事より平成 28 年度事業計画(案)について説明があり、これを総会に諮ることを諒承。

8. 第 52 回 (2015 年) 年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成

阿部宏史大会実行委員長より年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成について説明があり、これを諒承。

9. 審査規程を改正する規程の承認

水野谷総務担当常任理事より日本地域学会『地域学研究』学術論文等審査規程を改正する規程について説明があり、審議の結果、今後学術論文のジャンルを「研究論文」及び「提言」の 2 種類とし、新たに編集方針等を多和田機関誌編集委員長が作成した後、規程の改定を改めて行うことが諒承された。

10. 『地域学研究』セット販売の推進

氷鮑会長より引き続きセット販売の促進を進める旨提案があり、これを諒承。

11. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

氷鮑会長より新入会員勧誘の現状について報

告があり、引き続きキャンペーンを進めることが諒承された。

## 12. その他

- 1) 臼井名誉会員推薦委員長より信國眞戴氏を名誉会員に推薦したい旨報告があり、次回総会に諮ることが諒承された。
- 2) 鐘ヶ江理事より、立命館大学大阪いばらきキャンパス(OIC)総合研究機構 地域情報研究所主催 立命館大学大阪いばらきキャンパス (OIC)・地域情報研究所開設記念シンポジウム「地球環境変動と地域社会の連携とコミットメント～コンセンサス形成のための地域の相互学習から Future Earth 実現へ向けて～」及び国際シミュレーション&ゲーミング学会、日本シミュレーション&ゲーミング学会主催「The 46th ISAGA Annual Conference/Japan Association of Simulation & Gaming」の後援名義使用について依頼があり、これを諒承。
- 3) 氷鮑会長より鈴木理事に『地域学研究』出版スケジュール管理担当理事の就任依頼をすることが提案され、これを諒承。
- 4) 氷鮑会長より今後若手会員に対して積極的に声掛けを行い、事務局幹事の就任依頼をすることが提案され、これを諒承。

## 報告事項

### 1. 機関誌編集委員会報告

多和田機関誌編集委員長より『地域学研究』45巻の掲載候補論文の選考と刊行進捗状況について報告があった。

### 2. 第1回学会賞優秀発表賞選考委員会報告

酒井学会賞選考委員長より第1回学会賞優秀発表賞選考委員会について報告があった。

### 3. 第1回学会賞選考委員会報告

酒井学会賞選考委員長より第1回学会賞選考委員会について報告があった。

### 4. 平成27年度理事会(持ち回り)第1回

氷鮑会長より持ち回りによる平成27年度理事会(第1回)について報告があった。

### 5. RSAIの動向

氷鮑会長より RSAI の動向について報告があ

った。

### 6. PRSCOの動向

渋澤庶務担当常任理事より PRSCO の動向について報告があった。

### 7. その他

河野顧問より退会会員の筒井会員について確認が有り、氷鮑会長より説明があった。

平成27年度 日本地域学会 第3回理事会

日時: 平成27年7月20日(月・祝) 13:00-15:00

場所: 学術総合センター 会議室

出席者: 浅見,阿部,石橋,岡村,木南(莉),國光,近藤,櫻井,佐々木,渋澤,鈴木,多和田,戸田,萩原,氷鮑,藤岡,細江,水野谷,三橋,宮田,柳原,吉田の各理事(ただし,鐘ヶ江,斎藤,高橋,松本,三友の各理事より委任状付託;以上理事27名出席);オブザーバとして梶井監事,臼井,河野の各顧問,酒井学会賞選考委員長,木南(章)機関誌編集委員会副委員長;内田,古澤の各幹事;秋山事務局秘書  
議題

#### 1. 新入会員・退会希望者の承認

水野谷総務担当常任理事より,個人会員(13名)の入会希望と,個人会員(8名)の退会希望があった旨報告があり,これを審議した結果,総会に諮る事が諒承された。この結果,正会員1,040名,法人会員8団体となった。

#### 2. 第52回(2015年)年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成

阿部宏史大会実行委員長より,年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成等について説明があり,これを諒承。

#### 3. 第53回(2016年)年次大会準備の進捗状況

木南(莉)理事より,次回新潟大会の準備状況について報告があり,これを諒承。

#### 4. 論文賞の呼称(大石泰彦賞)を定める規程の承認

臼井顧問より,論文賞の呼称を大石泰彦賞と定めることを提案するに至る経緯の報告があった。この後,氷鮑会長より論文賞の呼称を大石泰彦賞と定める規程について説明があり,これを

諒承。

#### 5. 審査規程を改正する規程の承認

多和田機関誌編集委員長より今後の機関誌編集方針について説明があった。この後、氷鮑会長より審査規程を改正する規程について説明があり、今後これを更に検討することを諒承。

#### 6. 学術著作権協会との電子的複製権管理委託契約の承認

水野谷総務担当常任理事より、学術著作権協会との電子的複製権管理委託契約について説明があり、これを諒承。

#### 7. 『地域学研究』セット販売の推進

氷鮑会長よりセット販売の推進について説明があり、これを諒承。

#### 8. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

氷鮑会長より新入会員勧誘キャンペーンの推進について説明があり、これを諒承。

#### 9. その他

##### 報告事項

##### 1. 機関誌編集委員会報告

多和田機関誌編集委員会委員長より『地域学研究』45巻の掲載候補論文の選考結果と刊行進捗状況について報告があった。

##### 2. 第2回学会賞選考委員会報告

酒井学会賞選考委員会委員長より第2回学会賞選考委員会について報告があった。

##### 3. RSAIの動向

氷鮑会長よりRSAIの動向について報告があった。

##### 4. PRSCOの動向

渋澤総務担当常任理事よりPRSCOの動向について報告があった。

##### 5. その他

氷鮑会長より、従来からのルールに基づいて、経済学会連合による海外派遣に応募のあった池川真里亜会員を推薦したことが報告された。

平成27年度 日本地域学会 第4回理事会(持回り)

日時：平成27年7月21日17:00

議題 1. 資産評価政策学会主催 平成27年度

#### シンポジウム

「建物評価と中古住宅流通市場」後援名義使用の件

上記後援名義使用を許可する件につき審議に付し、承認が得られた。

平成27年度 日本地域学会 第5回理事会(持回り)

日時：平成27年8月20日17:00

議題 1: 小川健氏(専修大学経済学部)への日本地域学会第24回学会賞奨励賞授賞を承認する件

上記奨励賞授賞を承認する件につき審議に付し、承認が得られた。

議題 2: 加賀屋誠一氏(北海道大学名誉教授)への日本地域学会第24回学会賞功績賞授賞を承認する件

上記功績賞授賞を承認する件につき審議に付し、承認が得られた。

#### V. 委員会報告

##### 1. 学会賞選考委員会

学会賞選考委員会(委員長 酒井泰弘 滋賀大学名誉教授)では、慎重な審議のうえ下記の会員の方々に平成27年度(第24回)日本地域学会学会賞を授与する事を決定しましたので報告致します。なお、授与式は本年度の総会で執り行われます。

##### 功績賞:

加賀屋誠一(北海道大学名誉教授)

『二車線道路における追越車線設置効果に関する基礎的研究』

##### 論文賞:

該当なし

##### 奨励賞:

小川健(専修大学経済学部講師)

『結合生産を含むリカードモデルでの特化パターン分析』

##### 著作賞:

田中利彦(熊本学園大学経済学部教授) 著

『先端産業クラスターによる地域活性化-

産学官連携とハイテクイノベーション』  
谷口守(筑波大学システム情報系社会工学  
域教授) 著

『入門 都市計画 都市の機能とまちづ  
くりの考え方』

徳永澄憲(麗澤大学大学院経済研究科・経済  
学部教授) 編著

沖山充(麗澤大学経済社会総合研究センタ  
ー客員研究員) 編著

阿久根優子(麗澤大学経済学部准教授) 著

石川良文(南山大学総合政策学部教授) 著

猪原龍介(亜細亜大学経済学部准教授) 著

『大震災からの復興と地域再生のモデル分  
析一有効な財政措置と新産業集積の形成一』

田中啓一賞(博士論文賞):

上杉昌也(立命館大学日本学術振興会特別  
研究員)

『近隣人口の社会経済的構成が地域・居  
住者に与える影響に関する定量的分析』

関口達也(中央大学 理工学部 人間総合理  
工学科助教)

『開店・閉店情報を用いた商業店舗の立  
地変容傾向の時空間分析とその手法の提案』

星野優子((財)電力中央研究所:社会経済研  
究所上級研究員)

『途上国の産業部門におけるエネルギー  
需要抑制策としてのエネルギー価格制  
度改革の有効性に関する研究』

熊田禎宣賞(修士論文賞):

野崎乃倫子(筑波大学大学院生命環境科  
学研究科博士後期課程)

『東京都における循環型社会のための廃  
棄物リサイクル促進政策のシミュレ  
ーション分析』

2. 機関誌編集委員会報告

日本地域学会 第 49 回機関誌編集委員会

日時: 平成 27 年 4 月 26 日 (日) 11:00-12:00

場所: 学術総合センター会議室

出席者: 委員: 多和田, 松本, 浅見, 木南(章),  
氷鮑, 木南(莉), 酒井, 櫻井, 渋澤, 高橋, 徳  
永, 藤岡, 水野谷, 三友, 小野の各編集委員 (た  
だし吉田, 近藤, 阿部の各委員より委任状付託),  
オブザーバとして萩原副会長, 白井名誉会員推  
薦委員長, 岡村理事, 内田, 古澤の各幹事, 秋  
山事務局秘書

議題

1) 『地域学研究』第 45 巻掲載候補論文の選考  
レフェリー評価に基づき第 45 巻の掲載候補  
論文の選考が行われた。

2) 同上機関誌印刷方針

第 45 巻の発行計画について, 多和田委員長  
より報告があった。

3) その他

日本地域学会 第 50 回機関誌編集委員会

日時: 平成 27 年 7 月 20 日 (月) 11:00-12:00

場所: 学術総合センター会議室

出席者: 委員: 多和田, 浅見, 木南(章), 氷鮑,  
木南(莉), 酒井, 櫻井, 渋澤, 戸田, 藤岡, 細  
江, 水野谷, 吉田, 近藤, 阿部の各編集委員 (た  
だし松本, 高橋, 三友の各委員より委任状付託),  
オブザーバとして萩原副会長, 岡村理事, 内田,  
古澤の各幹事, 秋山事務局秘書

議題

1) 『地域学研究』第 45 巻掲載候補論文の選考  
レフェリー評価に基づき第 45 巻の掲載候補  
論文の選考が行われた。

2) 同上機関誌印刷方針

第 45 巻の発行計画について, 多和田委員長  
より報告があった。

3) 同上機関誌書評掲載について

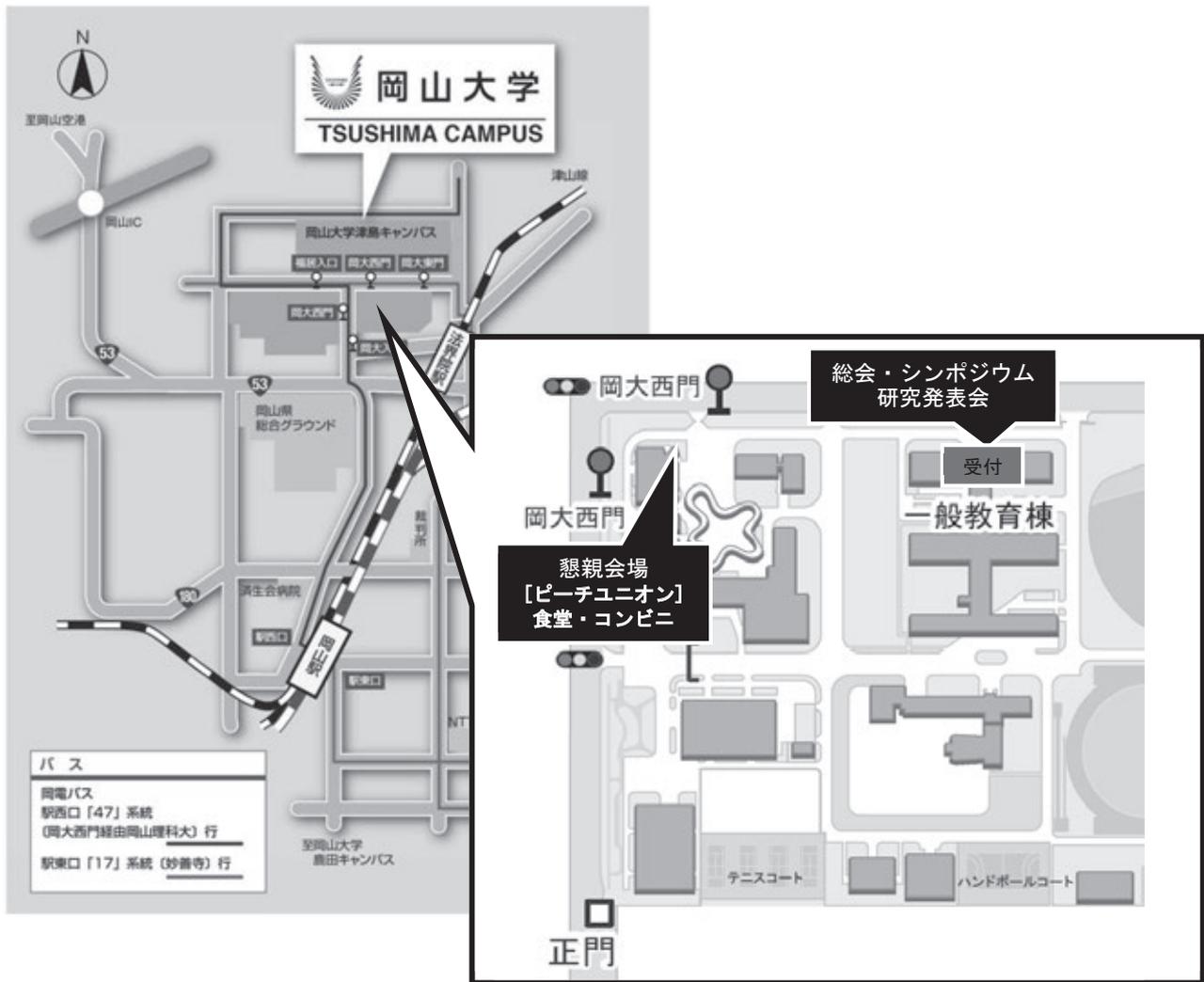
4) 『地域学研究』編集方針, 審査規程の改正に  
ついて

編集方針の変更について審議が行われ, 継続  
審議となった。

5) その他

# 会場案内

## 1. 岡山大学津島キャンパス



岡山大学津島キャンパス 〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1

### JR 岡山駅から

岡山駅西口バスターミナル 22 番乗り場から岡電バス「47」系統「岡山理科大学」行きで「岡大西門」にて下車

\* 所要時間約 10 分，200 円

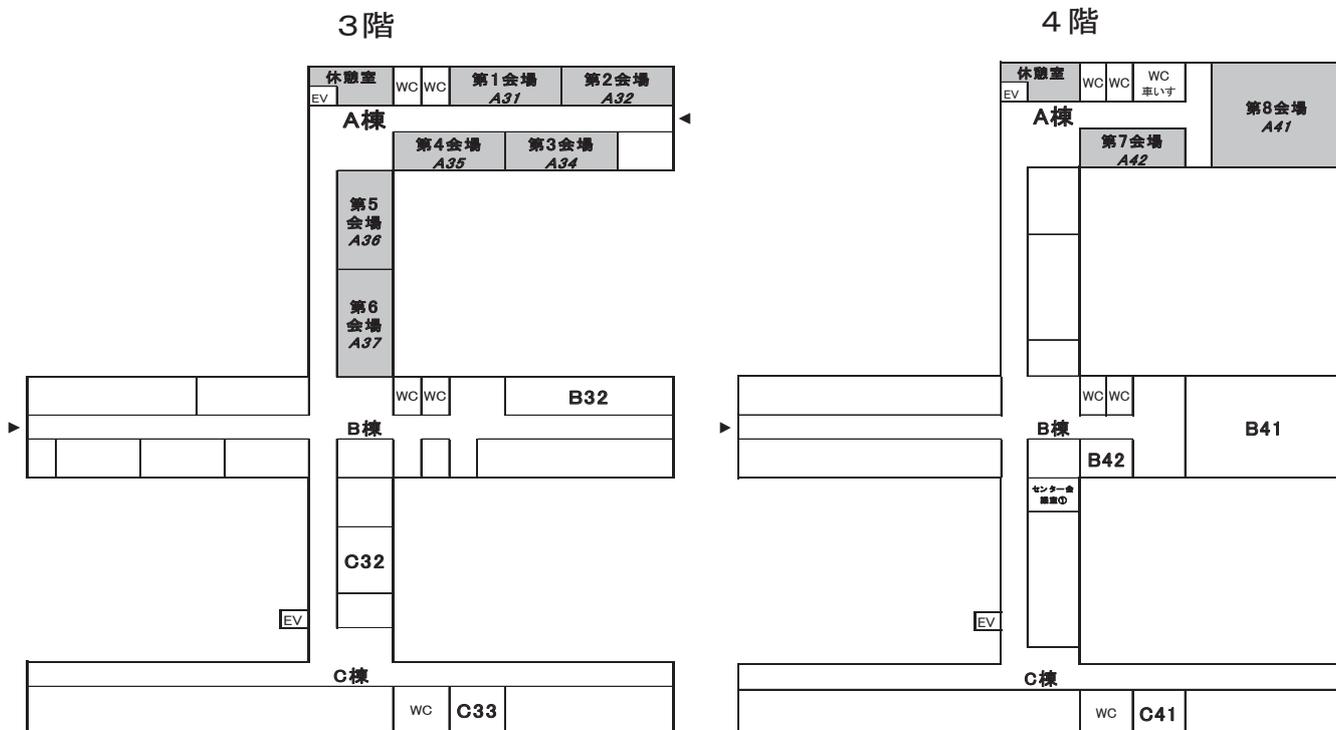
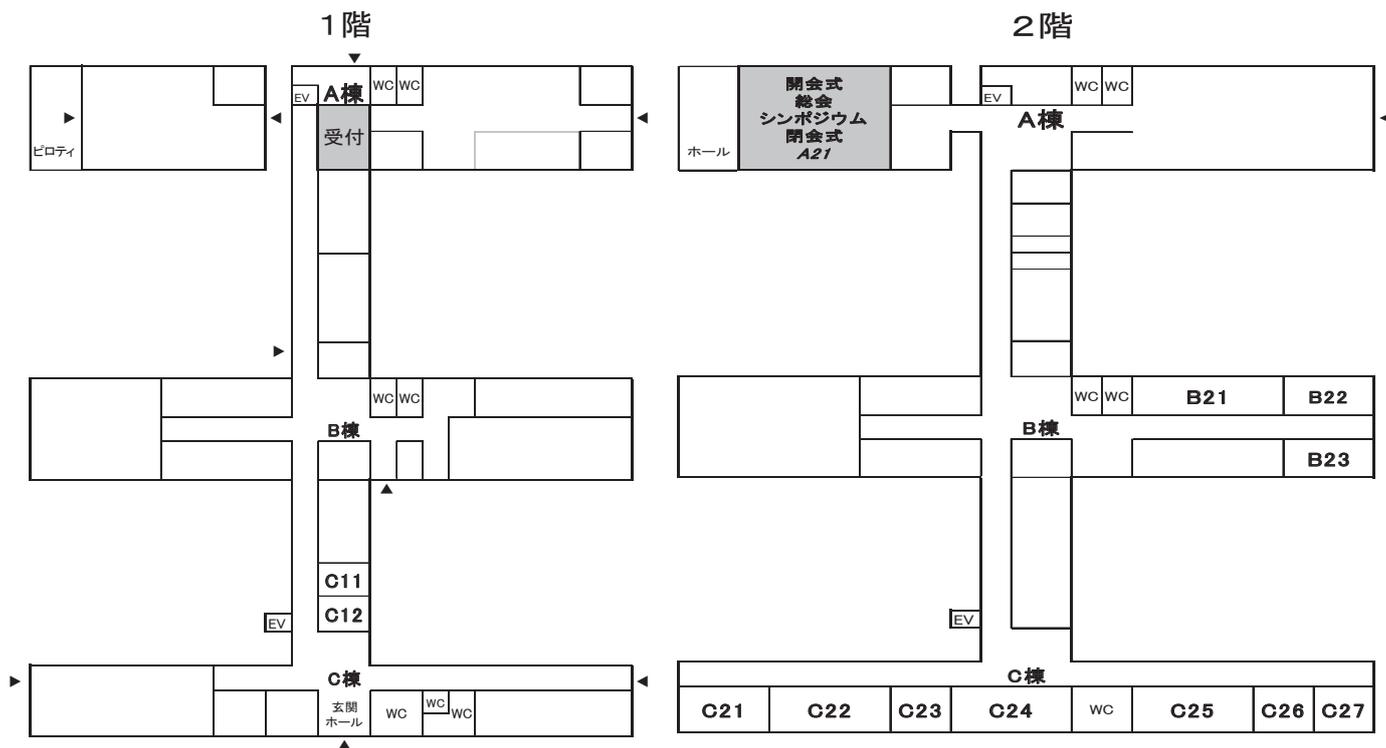
### 岡山空港から

岡山空港ターミナルビル前バス乗り場から空港リムジン「岡山駅西口」にて、「岡山大学筋」で下車，会場まで徒歩 7 分。ノンステップ便は「岡山駅」で下車，上記アクセス。

\* 岡山空港－岡山大学筋 所要時間約 25 分，710 円

\* 岡山空港－岡山駅 所要時間約 30 分，760 円

2. 建物内(一般教育棟A棟・B棟内) セッション・総会・シンポジウム会場



## 懇親会・昼食案内

### 1. 懇親会

岡山の郷土料理と地酒をそろえてお待ちしております。是非ご参加ください。

日時：2015年10月11日（日）18：15～19：45

場所：岡山大学ピーチユニオン（講演会場から徒歩2分。会場案内を参照）

会費：一般 4,000円 学生 2,000円

### 2. 昼食

ピーチカフェテリア（食堂：各種定食，どんぶり，麺類等）

場所：ピーチユニオン 2階（会場案内を参照）

営業時間：11時～14時（大会期間中）

セブン・イレブン（コンビニ：弁当，飲み物，その他）

場所：ピーチユニオン 1階（会場案内を参照）

営業時間：11時～14時（大会期間中）

# 『地域学研究』バックナンバー/ 定期購読申込書

宛先: 筑波大学生命環境系氷鉋研究室内

〒 305-8572 つくば市天王台 1-1-1

tel +81-298-53-7221 (fax)

日本地域学会事務局 御中

日本地域学会機関誌の定期購読を申込ます (16,000 円 / 年)。(PRINT ISSN: 0287-6256)

下記のとおり, 日本地域学会機関誌のバックナンバーを申込ます。

平成 年 月 日 氏名: 印  
 所属:  
 住所:  
 電話, fax:

記念事業セット販売					※		
フルセット:『地域学会年報(1-6号)』+『地域学研究(第1-40巻)』				450,000円			
セミセット:『地域学研究(第1-40巻)』				400,000円			
				小計	円		
『地域学会年報』(第1-6号)							
1号 10,300円		2号 10,300円		3号 10,300円			
4号 10,300円		5号 10,300円		6号 10,300円			
『地域学研究』(第1-19巻)							
第1巻 8,000円		第2巻 8,000円		第3巻 8,000円			
第4巻 8,000円		第5巻 8,000円		第6巻 8,000円			
第7巻 8,000円		第8巻 8,000円		第9巻 8,000円			
第10巻 8,000円		第11巻 10,000円		第12巻 10,000円			
第13巻 8,000円		第14巻 8,000円		第15巻 10,000円			
第16巻 8,000円		第17巻 10,000円		第18巻 10,000円			
第19巻 9,400円							
『地域学研究』(第20-28巻) no.1,no.2							
第20巻no.1 9,000円		第20巻no.2 3,500円		第21巻no.1 10,000円			
第21巻no.2 3,500円		第22巻no.1 10,000円		第22巻no.2 3,500円			
第23巻no.1 10,000円		第23巻no.2 3,500円		第24巻no.1 10,000円			
第24巻no.2 3,500円		第25巻no.1 10,000円		第25巻no.2 3,500円			
第26巻no.1 10,000円		第26巻no.2 3,500円		第27巻no.1 10,000円			
第27巻no.2 3,500円		第28巻no.1 10,000円		第28巻no.2 3,500円			
『地域学研究』(第29巻-)no.1,no.2,no.3							
第29巻no.1 7,000円		第29巻no.2 3,500円		第29巻no.3 7,000円			
第30巻no.1 7,000円		第30巻no.2 3,500円		第30巻no.3 7,000円			
第31巻no.1 7,000円		第31巻no.2 3,500円		第31巻no.3 7,000円			
第32巻no.1 7,000円		第32巻no.2 3,500円		第32巻no.3 7,000円			
第33巻no.1 7,000円		第33巻no.2 3,500円		第33巻no.3 7,000円			
第34巻no.1 7,000円		第34巻no.2 3,500円		第34巻no.3 7,000円			
『地域学研究』(第35巻-)I ボリューム4冊一括販売 16,000円; 8,000円/冊							
第35巻no.1		第35巻no.2		第35巻no.3		第35巻no.4	
第36巻no.1		第36巻no.2		第36巻no.3		第36巻no.4	
第37巻no.1		第37巻no.2		第37巻no.3		第37巻no.4	
第38巻no.1		第38巻no.2		第38巻no.3		第38巻no.4	
第39巻no.1		第39巻no.2		第39巻no.3		第39巻no.4	
第40巻no.1		第40巻no.2		第40巻no.3		第40巻no.4	
第41巻no.1		第41巻no.2		第41巻no.3		第41巻no.4	
第42巻no.1		第42巻no.2		第42巻no.3		第42巻no.4	
第43巻no.1		第43巻no.2		第43巻no.3		第43巻no.4	
第44巻no.1		第44巻no.2		第44巻no.3		第44巻no.4	

購入総額合計 円

※ 申込該当箇所に○をする。□にはチェックする。

機関購入の場合は, 氏名, 所属に見積り, 納品, 請求書宛名機関名等を記入, 責任者押印 以上

平成 27 年 4 月 1 日改定

# 日本地域学会 正会員 入会申込書

20 年 月 日

日本地域学会  
会長 氷鮑 揚四郎 殿

日本地域学会 会則第5条に定める正会員として下記の通り入会を申し込みます。

氏名： 印

## 記

ふりがな				年 月 日生 歳 ※男・女
氏名	同英文 (last name, first name)			
所属先	機関名			同英文
		( 年 月より)		
	所属			同英文
	職名			同英文
	所在地	〒		同英文
		電話： ( )	fax: ( )	
e-mail				
自宅	住所	〒 配送希望先 ※勤務先・自宅		同英文
		電話： ( )	fax: ( )	
	e-mail			
学歴	年月入学			
	年月※卒業・修了・満期退学			
職歴	年月			
	年月			
	年月			
	年月			
専門分野	専攻：	学位： ( ) 大学)		
	<i>Regional Science Association International (RSAI) の研究領域分類 (複数回答可, 入会案内参照)</i>			
	I. ISSUE ORIENTATION		II. THEORETICAL/METHOD-LOGICAL ORIENTATION	
	III. MODE OF ANALYSIS		IV. REGIONAL FOCUS	
所属他学会				
紹介者 (会員に限る)				印

以上 (※は該当項目に○をする)

事務局記入欄	入会承認	年 月 日 第 回理事会	退会承認	年 月 日 第 回理事会
--------	------	--------------	------	--------------

入会様式-1 (2014年8月12日改定)